



日野学園だより

45

品川区立小中一貫校 日野学園

校長 青木 経

ホームページアドレス <http://www1.cts.ne.jp/~hinogaku/>

平成22年3月1日

数字から読み取る 1年間

～ 23785冊・3アップ・10名～

校長 青木 経

早春の日野学園正面玄関のフロアには、保護者からご寄贈いただきました2組の雛人形が、子どもたちの健やかな成長を祈るかのように見守ってくれています。

2月13日(土)の学習成果発表会(1年～4年ブロック)には沢山の保護者の皆様に、1年間の子どもたちの成長した姿をご覧いただきました。本校の学習成果発表会は、普段の学習の成果を発表する機会として設けられた行事であり、学芸会のような華々しさはありませんが、各学年の学習段階の違いと特徴がはっきりと現れる行事です。そのため、題材はあくまで学年の学習課題に対応しており基礎的な学習内容に更に発展的な課題を加味しています。また、発表に当たり8・9年生が指導や作成のお手伝いをしました。先生方ばかりでなく上級生が作成の段階で関わり指導に当たる今年の試みは、施設一体型の一貫校ならではの学習形態であり、そのよさを発揮することができました。さらに、タイムテーブルに従って広い施設を有効に活用した形式は、発表者と見学者が一体となって行事を作り上げる充実感に満ちたものであり、毎年秋に実施される文化祭(5年～9年ブロック)とはひと味違った行事となりました。

さて、表題の数字は1年間の学校の様子を示したものです。23785冊とは、昨年4月から今年の1月までのメディアセンター図書貸出し冊数です。本校には3名の図書館司書が図書の管理と運営に当たっていますが、オープンスペースを活用した施設では全学年に対応できるように努めています。今年度から2階のフロアにも読書コーナーを設置する一方、5年～9年では朝の読書時間を設定した結果、全体としては前年度を大幅に上回る冊数となりました。今年は「国民読書年」として国をあげて読書活動の推進にあたっていますが、本校においても「本が育てる学びの力」を重視します。

2つめの「3アップ」は9年生が5月から10月の6ヶ月間で達成した業者テストの偏差値です。年度当初、保護者や生徒に学力の実態と危機感を持ち受験生としての奮起を呼びかけましたが、新型インフルエンザの大流行や9年所属の先生が急逝するといった苦難を乗り越え、人間的には勿論ですが学力的にも力を付け入試に臨むことができました。短い期間に実力を付けた姿は、来年度以降の受験生にとって励みとなりました。

3つめの10名は英語検定準2級(高校生レベル)の合格者数です。2月に行われた3回目の検定でも7名が面接に残り発表待ちとなっており、最終的には更に合格者が増える見込みです。その他にも漢字検定や数学検定においても実績を残しており、日頃の学習に対する生徒たちの意欲が非常に高いことが実証されました。

このほかにも、先生方の研究授業54本、年間土曜登校日11回、197回の給食実施回数、4月から2月までの学校見学者400名など、1年間に様々な数字が残されました。いずれも本校の教育内容を端的に示すものであり、見えにくい教育活動がこれらの数字から読み取ることが可能です。

来年度からは品川区の全公立中学校と小学校は、それぞれの連携校の結びつきを更に強め、「小中一貫教育基本構想」に基づく教育課程を作成します。連携校では、「学力向上」と「人間形成」の2つの視点から共通の「一貫教育目標」を立てることになっており、4月にはお示しすることができます。日野学園としては来年度も引き続き「学力向上」「よりよい人間関係の育成」を柱に教育活動を推進してまいります。本校教育活動へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

22年度へ向けて

平成 21 年度最後の月を迎えました。学校では卒業式、そして新年度の準備を始めています。子どもたちにとっては各学年において 1 年間で学んだことや自分の成長について確認し、新学年への意欲を高める一月になります。ご家庭におかれましても「まとめと準備」をよろしく お願いいたします。

1 年間を振り返って - 生活指導部より

生活指導主幹 大竹 基之

早いもので、1 年が終わろうとしております。今年に入ってからレーザーポインターによる事故がありましたが、1 年を振り返ると、その他には大きな事件事故もなく無事に過ごせたのではないかと思います。残りの 1 ヶ月、引き続き気を引き締め、無事に過ごせるよう子どもたちに働きかけていきたいと思っております。

ところで、今年度の生活指導目標である「あいさつをしよう」はどのくらい達成できたのでしょうか。1 月の学校だよりにも書いたように、以前に比べると出来るようになってきましたが、まだ十分ではありません。特に、朝のあいさつはまだのようです。来年度も引き続き、児童生徒会や生活委員会の子どもの活動をとり入れながら、「あいさつをしよう」を生活指導の目標としていきたいと思っております。また、来年度は授業規律の向上にも力を入れ、より一層落ち着いた学校にしていきたいと思っております。

進路指導部の成果と課題

進路指導主幹 久保 誠

進路指導部の担当内容には、進路指導、キャリア教育、メディアセンター、視聴覚、児童・生徒会の 5 つがあります。今年度の成果としては、「日野学園授業体験教室」の形式を大きく変え、各小学校単位で行い、中学校の実質的な体験を多く盛り込み実施できたことです。また、職場訪問、職場体験、学生インターン、ファイトクラブなどのキャリア教育を滞りなく実施でき、次年度に引き継げるように反省点・留意点を記録に残せたことです。これらの活動を通して児童生徒の意識が少しずつ変わってきていると感じられます。メディアセンターの運営では 1 月の学校便りにも載せましたが、年間を通して朝読書を取り入れることで、落ち着いた雰囲気の中で一日のスタートが切れ、読書をする児童・生徒が増えたことが上げられます。

今後の課題としては、今年度途中から一貫教育推進部と協力して行っている「学力向上」「家庭学習の定着」の活動です。ご家庭のご協力を頂きながら一貫校ならではの形を作り上げ、9 年生の出口を保障できるような成果を出していかなければなりません。また、メディアセンター利用者をさらに増やすことやマナーの向上、図書活動を通しての小中の交流なども取り組んでいきたいと考えています。

授業力評価と児童生徒の関係

小中一貫推進主幹 吉川 信次

一貫教育推進部では、今年度主に、全教員の研究授業（年間 54 本） 市民研修会 3 回 家庭学習の手引き書を作成 学力定着度調査の公表と分析 ステップアップ学習の検討 若手教員の育成に取り組んできました。

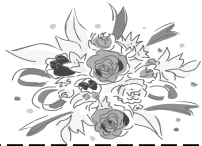
この中の月 1 回取り組んできた研究授業では、授業力向上を図るために授業点検シートを活用しました。それぞれの教員が自分の授業を分析し、改善点をまとめ今後の授業に生かすことをねらいとしました。また、3 年生から 9 年生までの児童・生徒にも教員の授業について評価をしてもらいました。発問・指示 板書 説明の仕方 指導 評価・支援 活動の時間・速さなど、6 項目（設問 24）を 4 段階評価で行いました。その結果を見ると、児童・生徒との関係がスムーズな教員ほど評価が高くなる傾向がありました。「勉強が好きになる一番の方法は、先生を好きになること」という言葉を聞いたことがあります。私は、最初の保護者会で「子どもの前で教員の批判的なことは絶対言わないで欲しい。」とお願いをします。悪い見方を子ども達がしてしまい、人間関係にひびが入る可能性があるからです。「何かあったら直接教員に伝える」ことは、学習を支える上でも大切なことなのです。

教務部の成果と課題

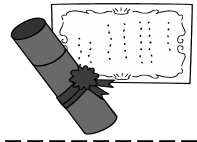
教務主幹 杉浦 雅人

われわれ教務は年度当初、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関にご案内しました年間行事計画を滞りなく遂行させることが大きな仕事です。21 年度の行事予定も残すところあとわずかになり、この 1 年間で改めて振り返っているところですが、インフルエンザの猛威にさらされた時は、授業時数のカウントを毎日行い、授業時数の確保に努めました。

現在、教務 9 名のスタッフで今年度のまとめと 22 年度の年間行事計画を調整中です。まだご案内できる段階ではありませんが、21 年度と同様にご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



卒業おめでとう！



卒業までに...

君たちは、力をもっている。

これまで全力を出し切ったことのない人の中にも力がある。

卒業までの残り少ない時間に、君たちの全力を感じたい。

輝く未来を感じさせてほしい。輝く未来を喜びたい。

巻山 香

ご卒業おめでとうございます。みなさんと一緒に過ごした2年間、本当にいろいろなことがありました。そのたびにみなさんの成長を感じることができました。私も一緒に成長することができました。

理科の授業では、途中で進め方を変えたり、いろいろな行事があったりと大変な思いをさせたと感じます。4組の一行日記には「疲れた」が多くありました。そんな中でもみなさんは、一日一日楽しそうに過ごしていました。

4月からみなさんは新たな道を歩いていきます。日野学園で学んだことを活かし、新たな場所で活躍してください。さらに大人になったみなさんにお会いできることをたのしみにしています。

岡田 修一

卒業を前に振り返った時、「頑張れた！」って自分を誇れるものがありますか。私の中学時代はというと、残念ながら誇れるほど頑張ったものはなく...。ですが高校時代から私は変わりました。そこからある意味、私の人生のスタートだった気がします。4月からは皆それぞれ新しい生活が始まります。これから、たくさんの「努力」や「経験」を重ねて、自分に自信がもてるような人になれるといいね。君たちのことを、応援しています！

堀内 有子

「春に」という曲があります。春は自然界は芽吹き、人々は新しい生活が始まる季節です。不安な、悲しいような、でも新しいあしが待ち遠しいような、なんとも言えない様々な想いがわきあがる気持ちを歌っています。卒業生のみなさんもきっとそんな気持ちでいるのでしょうか。最後にたくさんの想いを込め高らかに歌声を響かせ、あしが待ち遠しい気持ちそのまま、晴れ晴れとした笑顔で卒業式を締めくくれますように。卒業おめでとう。

橋本 真紀子

私はこの約半年間の間に身近にいた大切な人を3人も亡くしました。父、義母、そして柳川先生です。生きていることの大切さ、素晴らしさを痛いほど考えさせられました。

さて、みなさんは義務教育の9年を終え、いよいよ巣立っていきます。今、こうやって元気に生活できているのは、ご両親や家族、周りで支えてくださった多くの大人、そして友だちのお陰です。常に周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、力強く生きていってください。君たちの未来に幸多きことを祈っています。卒業おめでとう。

久保 誠

みんなが生まれた頃、先生は19歳でした。アスリートとしての絶頂期を迎えていた頃です。勝つことが人生の全てであり、思い通りにならないものは無いと本気で思っていました。そんな裸の王様は、教員採用試験に4年連続で失敗しました。世の中をナメていた青年は、頑張っても勝てない苦しみを知りました。でも、どんな苦難や失敗をしても乗り越えれば必ずいいことがあります。先生は、頑張ったおかげでみんなに出会えました。

逆井隆雄

微笑み

卒業おめでとう！心から微笑みしたいと思います。

進路は皆それぞれ異なるでしょうが、みんなも心の微笑みを忘れないで下さい！

「微笑み？」それは、心のゆとりのようなもの。心身共に健康でないと浮かんでこない言葉。自分自身、無理せず自然体でないとその表情が出てこないもの。そして、人は人、自分は自分という気持ちをしっかり持って、軽い人の意見にも動揺せず自分らしさを保っていきよう。

さあ、今日からの旅立ちを祝って微笑みながら歩み続けよう！！

平間 健治

ご卒業おめでとうございます。中学校時代3年間、ずいぶん心も体も成長しましたね。これからもいろいろな事にチャレンジして、精神的にもよりいっそう大きく成長してください。

養護教諭・菅野幸枝

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんと過ごした三年間は楽しく、心に残ることばかりでした。そのひとつひとつの経験がみなさんを成長させ、その成長が六組の下級生の見本となって、引き継がれていっています。みなさんには誰にも負けない真面目さと明るさがあります。高校生になって新しいことに会っても今までのように前向きに挑戦し成長し続けてください。

六組の七名のあなたたちに出会えたことに感謝します。『ありがとう！』

徳田 恭子

副校長 森嶋 尚子

21年度の学校便りも最終号となりました。子どもたちのさまざまな事を保護者・地域の皆様と一緒に考えたいという思いで子どもたちの学習活動の様子をお伝えしてまいりました。継続的な取り組み、新しい取り組み……。日野学園の子どもたちは今年も多くのことチャレンジしました。子どもたちの活動を引き出し、支え、継続させていくためには、周りの大人の協力が何より大切です。私たち教職員と保護者・地域の皆様が協力できる関係にいることは、子どもたちの安心・安定にもつながります。ご協力、本当にありがとうございました。今後、更に保護者・地域の皆様と話し合える機会を増やしていきたいと考えております。

未踏の分野を開拓していく日野学園。子どもたちの姿をしっかりと捉え、一步一步前進していきます。22年度も子どもたちの生の声・姿をお伝えできるよう発信してまいります。

副校長 山口 晃弘

屋上はふだん人が立ち入らない場所です。ご存じのように畑や水田があります。PTAの有志の方が中心になって、冬の間は使っていない畑の一部を耕し、苺やハーブの苗を植えてくださいました。しっかり根付いています。一方、その隣の畑にまいたハウレン草やサヤエンドウの種は、さっぱり変化が見られませんでした。最近、やっと芽が出てきました。

保護者にとっては、安心して子どもを任せることができ、学習の評価が適切に行われ、子どもの成長のために一緒に考えてもらえる学校。教師にとっては、能力が発揮できて努力が報われ、やりがいを感じることができる学校。この両方を実現させ、よりよい学校づくりを進めます。屋上の畑にまいた種のように「心配はしたけど、確かに成長している」と言い切れる日野学園になるように引き続き努力をいたします。

副校長 齋藤 道

年度末、年度初めは出会いと別れの季節です。卒業して新しい進路に進み、離れ離れになる仲間もいれば、入学、進級で新しい仲間との出会いもあります。転任される先生もいれば、新しく赴任される先生もいます。別れはさびしいものですが、別に一生会えなくなるわけではありません。むしろ新しい出会いを迎えるための試練と考えてみてはどうでしょうか。一方で、新しい仲間や先生との出会いは、皆さんにとって大きなチャンスでもあります。今まで知らなかった新しい考えや、人の生き方に触れることが出来るからです。立ち止まり、過去を振り返ることも時には大切なかもしれませんが、若い皆さんは過去ばかり振り返るのではなく、ぜひ未来をしっかりと見つめてほしいと思います。視線を遠くに向ければ、自分の進むべき道も見えてくることでしょう。春四月、勇気を持って新しい一歩を踏み出していきましょう。

3月 行事予定

月	火	水	木	金	土	日
1 学年末考査5-8年 茶道体験2年	2 学年末考査5-8年	3 全校朝礼 茶道体験1年 5-8年午前授業	4 校外学習2・5年 防犯訓練	5 安全点検日	6 土曜登校 外部評価協議会	7 校庭開放
8 社会科見学5・6年	9 球技大会9年 柔道指導6年	10 ブロック集会 一式	11 遠足9年 PTA臨時総会	12 水泳指導終 地域清掃6・9年	13 地域清掃 数学検定 小P連発表会	14
15 読書週間始 9年生を送る会	16	17 卒業式予行	18 給食終9年	19 卒業証書授与式	20	21 春分の日 中学生部引退大会
22 休日	23 保護者会 1・5・7・8年 6校時なし 球技大会7年	24 給食終了 球技大会8年 読書週間終	25 修了式	26 春季休業日始 新7年生登校日	27	28 地域スポーツクラ ブ発足記念式典・祝 賀会

